

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第5部門第2区分
 【発行日】平成16年10月28日(2004.10.28)

【公開番号】特開2002-349550(P2002-349550A)
 【公開日】平成14年12月4日(2002.12.4)
 【出願番号】特願2001-162337(P2001-162337)
 【国際特許分類第7版】

F 1 6 C 17/04
 G 1 1 B 19/20
 H 0 2 K 5/16
 H 0 2 K 7/08
 H 0 2 K 21/22
 H 0 2 K 33/18

【F I】

F 1 6 C	17/04	A
G 1 1 B	19/20	E
H 0 2 K	5/16	Z
H 0 2 K	7/08	A
H 0 2 K	21/22	M
H 0 2 K	33/18	B

【手続補正書】

【提出日】平成15年10月16日(2003.10.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

主軸と、前記主軸を軸受隙間を隔てて覆う筒状体とを備え、回転駆動される前記主軸または前記筒状体をスラスト方向に支持するスラスト動圧発生溝を設けた動圧軸受装置において、

前記スラスト動圧発生溝の深さ h_0 を約 $0.5\mu\text{m}$ h_0 約 $3.0\mu\text{m}$ としたことを特徴とする動圧軸受装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

そこで、前記課題を解決するために、本発明は、主軸と、前記主軸を軸受隙間を隔てて覆う筒状体とを備え、回転駆動される前記主軸または前記筒状体をスラスト方向に支持するスラスト動圧発生溝を設けた動圧軸受装置において、

前記スラスト動圧発生溝の深さ h_0 を約 $0.5\mu\text{m}$ h_0 約 $3.0\mu\text{m}$ としたことを特徴とするものである。